

「百舌鳥・古市古墳群から古墳の意味を探る&関西の古墳を巡ろう！」

3世紀から7世紀にかけ、時の為政者たちを葬るために巨大な墳墓が造られました。全国各地に様々な大きさ形の古墳が見られますが、飛鳥から奈良、京都と千年以上都のあった畿内には数多くの古墳が残されています。その中でも百舌鳥（堺市）と古市（藤井寺市・羽曳野市）の両古墳群には89基が現存しています。5月14日、ユネスコの諮問機関であるイコモス（国際記念物遺跡会議）からの勧告が出されたことにより世界遺産登録へ大きく前進した「百舌鳥・古市古墳群」。

新しい令和の時代を迎え、改めて自国の歴史を振り返り、遺された歴史文化資源の価値、その意味を探ります。



(仁徳天皇陵古墳)
提供：堺市

入場
無料

展示期間 令和元年7月2日（火曜日）から7月28日（日曜日）まで
展示場所 大阪府立中央図書館1階展示コーナー
休館日 7月8日（月曜日）、16日（火曜日）、22日（月曜日）
開館時間 9時から19時まで（土日祝祭日は17時まで）

講演会Ⅰ

「古市古墳群を学ぼう！～峯ヶ塚古墳の成果を中心に～」



講師 吉澤 則男さん（羽曳野市教育委員会 文化財保護課参事）

日時 7月14日（日曜日） 14時から15時30分（開場は13時30分より）

会場 大阪府立中央図書館2階多目的室

定員 80名（先着順、申込不要、受講無料）

講演会Ⅱ

「古墳とは？ 百舌鳥古墳群とは？」



講師 橋 泉さん（堺市文化観光局 堺市博物館学芸員）

日時 7月21日（日曜日） 14時から15時30分（開場は13時30分より）

会場 大阪府立中央図書館2階多目的室

定員 80名（先着順、申込不要、受講無料）

講演概要 「古市古墳群を学ぼう！～峯ヶ塚古墳の成果を中心に～」

イコモスから世界遺産への登録が相当と勧告を受けた「百舌鳥・古市古墳群」。このうち、古市古墳群の概要や性格、主な古墳の特徴などを紹介し、世界文化遺産としての価値を改めて考えてみます。また、構成資産の中で唯一、主体部が発掘調査で明らかとなり、多種多様な副葬品が出土した峯ヶ塚古墳の調査成果などから見えてくる古市古墳群の文化や交流、最先端の技術などを学び直してみます。

【講師】

吉澤 則男さん（羽曳野市教育委員会文化財保護課参事）

講演概要 「古墳とは？百舌鳥古墳群とは？」

大阪鍵穴形の前方向後円墳が特徴的な日本の古墳。今から1600年ほど前に築かれた百舌鳥古墳群の古墳を紹介しながら、古墳とは何なのか、古墳時代とはどのような時代なのかを考えます。

【講師】

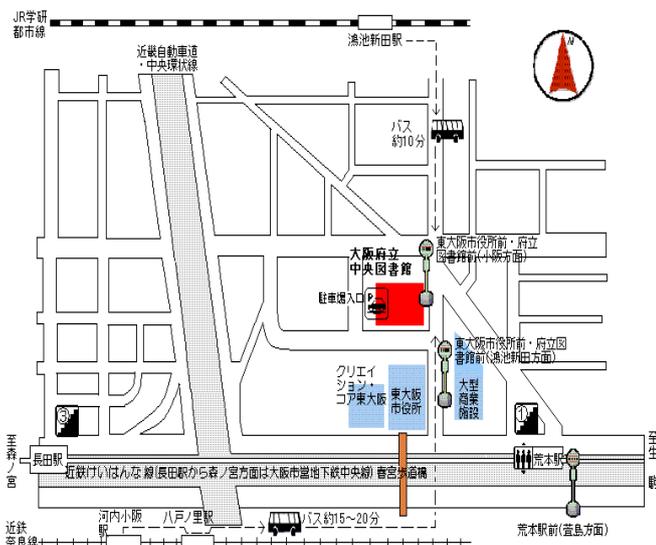
橋 泉さん（堺市文化観光局堺市博物館学芸員）

【堺市博物館とは】

堺市博物館とは、市制90周年記念事業として昭和55（1980）年に開館しました。生涯学習と市民文化の向上のため、堺市の歴史、美術、考古、民俗に関する博物館として、多くの資料を収集、保存、展示しています。

（所在地：大阪府堺市堺区百舌鳥夕雲町2丁目 大仙公園内）

※講演会の参加に際して、障がい等の状況により、配慮が必要な方は事前にお知らせください。



【アクセス】

- 近鉄けいはんな線（地下鉄中央線乗り入れ）
荒本駅下車（1番出口）北西へ約400M
長田駅下車（3番出口）北東へ約1000M
東大阪市役所北側

問い合わせ先

大阪府立中央図書館 生涯学習事業担当

〒577-0011

東大阪市荒本北1-2-1

TEL 06(6745)0170

FAX 06(6745)0262

【駐車場】

○有料地下駐車場：120台/入庫後15分間は無料（平日は100円/60分、最大料金500円、土日祝祭日は150円/60分、最大料金600円）

○詳しくは、次のホームページをご覧ください。

<https://www.library.pref.osaka.jp/site/central/>